

2020年8月の行事予定表

1	土		16	日	礼拝式
2	日	礼拝式(聖餐式)、教会役員会	17	月	
3	月		18	火	
4	火		19	水	
5	水		20	木	祈禱会
6	木	祈禱会	21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	礼拝式
9	日	礼拝式	24	月	
10	月		25	火	
11	火		26	水	
12	水		27	木	祈禱会
13	木	祈禱会	28	金	
14	金		29	土	
15	土	平和祈禱会(日基岡山教会)7:30	30	日	礼拝式
			31	月	

8月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 当初8月号の誌面は、少しずつ教会の活動が戻って来たことの一つとして、そろって奉仕できた「カーペットの張り替え」と、その中でも教会で気を付けている「感染予防の対策の確認」を証しとともに載せる予定でした。その作業の間に新型コロナの岡山での感染が増え、これはガラリと変えることになるかも、と一旦作業を止めました。この奉仕をしてから初めてのことでした。
- ◇ 来週からライブ礼拝になり、月報はしばらく週報ボックスの中で皆さんを待つこととなります。内容はホームページに掲載しますので、電子版の月報をお楽しみください。

# 教会月報

2020年8月

No.351

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

忍 耐

「私たちは、この希望の内に救われているのです。現に見ている希望は希望ではありません。現に見ているものを、誰がなお望むでしょうか。まだ見ていないものを望んでいるのなら、私たちは忍耐して待ち望むのです。」

ローマの信徒への手紙8章24-25節

昨年、中国の武漢で発生したと思われる新型コロナウイルスは、またたく間に欧米にひろがり、やがて日本にも至りクルーズ船の感染症対策に失敗する経験をしました。7月29日現在、新規感染者の記録が全国的に更新されています。また、世界中でおびただしい感染者が増加しています。とりわけ、南北アメリカ大陸では猛威を振るっています。

国内では経済的にも、教育関係、文科活動や芸術、スポーツ界にも影響を与えています。もはや1年前の世界になにもなかったかのように戻ることは不可能ではないかとさえ言われているのです。

しかし、そのみならず圧倒的に個人と家族という最小限の集団に大きな制約を与えているのが特徴かと思えます。人に病気をうつさないために自粛を余儀なくされているのが現実でしょう。

さて、聖書は私たちに「希望」が持てないようなとき、どのように生きてらよいかヒントを与えてくれます。それは、現実から逃避することでもなく、自分に厳しく、人にも厳しくあることを目指す事でもありません。信仰は、まだ見ていないものを待ち望みつつ、忍耐しつつ待ち望むとあります。今も忍耐のギリギリの状況だ！と言われるかもしれませんが、しかし、世界を創造し、私たち一人一人をオーダーメイドで手造りして下さった神様は、今もこれからも私たちを見続けて下さいます。そして、必ず忍耐を通して、神の祝福に与る事が出来ると信じます。さらに、主イエス様が私たちに寄り添って下さっていることを覚えましょう！

牧師 永松 清



## YouTube 礼拝の配信を再開します

新型コロナウイルスの流行に伴い、教会も様々な対応をせまられました。岡山のクラスターの発生や感染者の増加を受けて、7月26日(日)礼拝前に臨時役員会が開かれ8月2日(日)より再度 YouTube による礼拝配信が行われることになりました。あの緊急事態宣言下の対応に戻ったかたちとなります。礼拝再開時のなんとなくホッとした皆さんの表情を思い出すと残念ではありますが、神様に繋がることでいつも兄弟姉妹を思いやり、困難の中にある世界の人々を覚えて祈り続けるものでありたいと思います。

幸い教会は礼拝堂の天井が高く風通しも良く十分な換気がなされていますので、インターネット環境にない方は、以下のポイントに留意して安心して礼拝に参加してください。これは教会が礼拝を続ける上で今後もノーマルスタンダードとなることです。7月号に続けて掲載いたします。

- ① 集会中は両サイドの窓を開け常に換気を行う
- ② 受付にアルコール消毒液・マスクを備え付けて利用を促す
- ③ 受付の記名は行わず出席人数のみ記録する
- ④ 集会中はマスク着用(忘れた方にはマスクの予備あり)
- ⑤ 礼拝後の飲食はしない
- ⑥ 座席は前後左右を空ける
- ⑦ 聖餐式では個装のクラッカーや使い捨ての紙コップを用いる



夏になりマスク着用で長く話すことが困難になったので、講壇と司会者席にアクリル板を設置しました。

## 夏だ！スイカ割したよー

例年8月号はワンデースクールワンデースクールの楽しい報告記事を書いていたのですが、今年はイベントを中止をせざるを得なくなりました。でも、夏の子どもたちは元気！7月19日すいかわりを楽しみました。



## 教会を關して集會室のカーペット張替えました！

去る6月29日、教会の集會室と玄関のカーペットを12人の方々の参加で張り替えました。タイルカーペットなので、単に敷き詰めれば終わり！と思ったら大間違い。

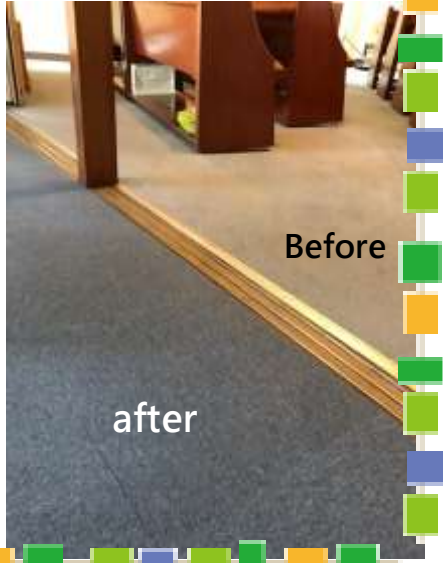
まず、今のカーペットをはがし、下を掃除してから新しいカーペットを敷いていきます。カーペットには微妙な模様があり、縦横を互い違いにすると床全体に微妙な市松模様が浮かぶようになっていますが、これを間違えないようにするのがなかなか難しい。(ちなみに、間違っているところがあります。さてどこでしょう？探してみてください)

真四角で、そのまま敷きかえればいいところはまだ簡単なのですが、家具や柱などがあるところは、今敷いてあるカーペットを型紙にして、新しいものを切らなければなりません。

これが意外と力と器用さを問われる仕事でした。O兄弟やY兄弟がいろいろ必要な道具をそろえてきてくださったので、思ったよりもはるかに効率よく敷きかえることができました。中でも有用だったのが木槌です。カーペットの四隅がうまく収まらないときに、軽くコンコンと叩くときれいになります。さすがこういう仕事に慣れている人は違うなと思いました。

新しいカーペットは前よりも少し毛足が長く、スリッパで歩くと思いのほか滑ります。みなさん、慣れるまではしばらく足元に気を付けてくださいね。

K.F. 姉



叔母の一番好きだった聖書の言葉テサロニケの信徒への手紙五章六節「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」その言葉を大切にいつも神様と叔母が見守って下さっていることに感謝し一日一日を大切にしていきたいと思えます。

叔母は牧師を退いて岡山に帰ってからは、岡山教会にお世話になり、一生神様と共に歩むことが出来、幸せだったと思います。今一番思うことは、叔母の説教を聞いてみたかったと言うことです。とても残念に思います。

牧師になってからは別府、千葉、東京と奉仕し数年に一度しか会うことはありませんでしたが、いつも優しい言葉で話しかけてくれました。小学校の頃祖母と兄と三人で別府教会へお邪魔したことがありますが、二泊したのでゆっくり話をすることができました。

叔母は四人姉妹の長女で父親は市会議員をしており、町内のご奉仕を大変大切に考える人だったそうです。食事やお風呂を家族より先に提供していたと聴きました。叔母はその精神を受け継ぎ牧師という仕事を選んだと思います。

その小学生の時以来再び教会に通うようになったきっかけは、牧師だった叔母の河合美恵子の存在がありました。叔母の遺志を継ぐ親族が居なかったことから、その思いを継ぎたいと考えたからです。

二年前の平日に一度訪問させて頂きました。牧師は外出中でしたが奥様が会堂他いろいろ見せてくださいました。六十年前と全く変わってなく、懐かしくよみがえってきました。その頃は大きく感じていた会堂も大人になってみると、少し手狭に感じました。改めて岡山ナザレン教会は建物も立派で駐車場も広くパイプオルガンもあり、恵まれていると思います。先輩方の努力に感謝しなければいけないと思いました。

私も今回で三回目になりました。私の教会デビューはここから近い広瀬町の「神の国教会」で、小学校三年生の時に参加させて頂きました。参加していた小学校は十〜十五人くらいだったと思います。一番楽しかったのはクリスマス会でした。

## 七月伝道礼拝証し

M.S.